JR九州労組

2016年
9月21日
NO.407

九州旅客鉄道労働組合
福岡市博多区博多駅前２丁目３－23
TEL　０９２－４７２－７９５０(代)
URL　http：//www.jr-krwu.org
発行人／許斐元文　編集人／大久保浩

本部第一次総対話集会に結集しよう

【総対話集会 開催期間】※詳細は各地本・支部までお尋ね下さい。

＜中央本部支部＞	10月３日(月)	～	31日(月)
＜長崎地本＞	10月24日(月)	～	28日(金)
＜大分地本＞	10月24日(月)	～	28日(金)
＜熊本地本＞	10月３日(月)	～	７日(金)
＜鹿児島地本＞	10月17日(月)	～	28日(金)

アジア連帯委員会（ＣＳＡ）

「救援衣類を送る運動」に参加しよう

2016年10月３日(月) ～ ７日(金) 必着

ＪＲ連合は、アジア連帯委員会（ＣＳＡ）を通じて、ラオス、タイを中心に、途上国の恵まれない方々や被災者に対し、救援衣類を送る福祉活動を行っています。

現地には、救援衣類を必要としている方がたくさんいます。

みなさんのご協力をお願いします。なお、送付できる衣類につきましては、制約がありますので、詳しくは、チラシまたは各地方本部、支部までお尋ねください。

※昨年度は、ＪＲ九州労組から段ボール箱で37箱を送付しました。

第1回地本・支部代表者会議を開催

当面の課題について意思統一を図る

本部は、9月7日、第25回定期大会以降初となる、地本・支部代表者会議を開き、本部執行委員会・地本・支部の代表が出席、当面する諸課題について意思統一を図った。

冒頭、中央執行委員会を代表し挨拶した許斐委員長は、▽第24回参議院議員選挙の取り組み▽ＪＲ九州の株式上場▽効率化施策、等について情勢報告を行うとともに、今後の取り組みについて提起した。（要旨別掲）

議事では、中原書記長より「２０１６年度労働協約改訂等」「ＪＲ九州高速船㈱２０１６年度労働条件改善要求」「第一次総対話集会」「大分～宮崎空港間４両ワンマン化をはじめとする会社施策への対応」等、当面する諸課題について提起。出席者からの意見を付加し、本部・地本・支部が一体となって課題解決に向け取り組んでいくことを確認した。

許斐委員長あいさつ　【要旨】

●第24回参議院議員選挙の取り組みについて

ＪＲ連合では比例で4名、選挙区で4名の当選となった。しかしながら、最重点候補として闘ったＪＲ連合国会議員懇談会の尾立源幸氏を落選させる残念な結果となった。

一方で、ＵＡゼンセンの川合孝典氏については3年前の雪辱を晴らし当選させることができた。九州7県でも推薦候補者を擁立し闘った結果、福岡県選挙区で古賀之士氏、大分県選挙区で足立信也氏を当選させることができた。あらためて、組合員・家族の皆様に感謝申し上げたい。

この結果を受け、ＪＲ九州労組では、古賀、足立両氏をＪＲ連合「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」への推薦を第2回執行委員会で決定した。11月9日に開催される「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム総会」で正式に承認される見通しである。

●株式上場について

新聞等の報道によれば、株式上場の手続きが順調に進み、10月25日にも株式上場が実現することになる。三島特例をはじめとする税制特例措置については、政府の要請行動により本年度は残すことができたものの、承継特例については、来年度は無くなり、三島特例も２０１８年度末で廃止されることとなった。２０１９年度以降、全ての税制特例措置が終了することとなっており、今後の経営に対する影響は非常に大きいものと考えられる。

●会社施策への対応等について

今後も、基幹事業である鉄道事業は赤字基調となることが予想されている中、会社は株式上場後の安定経営を目指し、徹底的なコスト削減を示してくるであろう。本年5月に会社から示された「平成28年度下期効率化施策」に対しても、「安全・サービスの確保」「雇用の確保」「労働条件の維持・向上」の方針を基に取り組んでいくこととする。特に、「２０１６年度労働協約改訂交渉」は現時点、会社は厳しい態度を示している。後ほど交渉状況等を報告するが、本部は最終集約にむけて粘り強く交渉を行っていくこととしているので、議論をお願いしたい。

●最後に…

今後も本部・地本・支部・分会が一体となった運動を取り組んで行けるよう、活発な議論をお願いするとともに、本日確認したものについては、迅速な情報伝達を行うことを要請する。

ＪＲ連合「熊本地震救援カンパ」支給について
全国から約2,300万円を集約

４月に発生した「平成28年熊本地震」での救援カンパについては、皆様のご協力により、ＪＲ九州労組で約190万円、ＪＲ連合全体で約2,300万円を集約することができました。ありがとうございました。集まったカンパについては、下記の基準で支給することが決まりました。支給対象となる方は、分会または地本・支部役員までお知らせください。

【人的被害】
①　組合員本人
　(1)　死亡［600,000円］　(2)　重傷［100,000円］　(3)　軽傷［10,000円］
②　配偶者および一親等の者（配偶者の一親等を含む）
　(1)　死亡［400,000円］　(2)　重傷［60,000円］　(3)　軽傷［10,000円］
③　同居の二親等の者（配偶者の二親等を含む）
　(1)　死亡［100,000円］
【家屋被害】
①　組合員本人が居住する自家または実家
　(1)　全壊［600,000円］　(2)　半壊［300,000円］　(3)　一部損壊［10,000円］
②　①以外の自家または実家
　(1)　全壊［100,000円］　(2)　半壊［50,000円］
③　組合員本人が居住する借家、社宅、寮等
　(1)　全半壊［30,000円］

※［　］内は支給金額　　※ 組合員には職員、退職者連絡会会員を含む
※ 不明な点は、中央本部までお問い合わせください。

◯第二次集約：９月３０日（金）

◇支給の認定はＪＲ連合カンパ対策委員会で行うこととしています。

各地本・支部で定期大会が開かれる
次世代育成に成果見られる

８月６に開催した中央本部博多支部を皮切りに、各地方本部・支部で定期大会が開かれ、安全の確立・労働条件向上にむけた取り組みなどが活発に議論され、向こう一年間の方針と執行体制を確認した。全ての地本・支部大会で議長にＪＲ採用組合員を選出するとともに、多くの平成組合員から発言・質疑が挙がるなど、次世代を担う組合員育成においても成果が見られる大会となった。

分会を訪ねて

㉔ 鹿児島鉄道事業部本所分会
鹿児島地区の現場を支える

鹿児島は8月に行われるという七夕飾りの前で

◎ **執行委員長**
南　克明

◎ **組織数**
１０３名（組織率100％）

◎ **活動内容**
鹿児島鉄道事業部本所分会は、本所工務・運輸・営業・鹿児島指令・客室乗務員というあらゆる系統が集まっています。
鹿児島地区は、一度雨が降るとすぐに雨規制で列車の運転が見合わせとなってしまいますが、迅速な対応が求められる中、「各系統の繋がり」を大切に、現場の状況把握や情報共有など、安全・安定輸送の確保、サービスの向上にむけて、本所一丸となって日夜奮闘しています。
分会は、執行委員会の定例開催を基本に、ボウリング大会や懇親会を行い、組合員同士のコミュニケーションを図っています。今後も組合活動に積極的に参画し、他の分会とも交流を深め、桜島のように活発にそして、元気よく邁進していきたいと考えています。
また、当鉄道事業部では、季節感を感じていただくため、支社玄関に桜やクリスマスの時期等に飾りつけを行っています。近くに来た際はぜひお立ち寄りください。

青年・女性委員会定期委員会開催

青年・女性委員会は８月27日、福岡市で、第25回定期委員会を開き、「自覚」「協調」「絆」のスローガンのもと、２０１６年度の活動方針を決定した。
委員会には、常任委員、委員会委員、来賓を含め、約80名が出席、議長団には、杉本委員（熊本）と大川委員（大分）を選出し、議事が進められた。あいさつに立った松下青年・女性委員長は「青年・女性委員会は「横のつながり」「絆を深める」活動を念頭に置き、企画・運営を行っている。組合員の育成・継承が言われているが、まずは、青年・女性委員会のモットーである「明るく・楽しく・元気よく」のもと、九州各地の青年・女性組合員と切れることない絆を作ってほしい」と訴えた。
活動方針を提起した後の質疑では、「ＰＳへの住宅援助金の新設」や「今後の青年・女性委員会の展望」など多くの委員から活発な意見が出され、担当からの答弁と家宇治事務長の集約答弁を受け、すべての議案が満場一致で採択された。
新体制役員体制、松下雄太青年・女性委員長をはじめとする21名の常任委員を選出。失敗を恐れずに積極果敢にチャレンジし、その経験を糧に新たな時代を切り拓いていくことを参加者全員で確認し、次世代を担う活動への一歩を踏み出した。
【通信員　松下　雄太】

賃金実態調査始まる
２０１７春闘の要求根拠に

ＪＲ連合の賃金実態調査は今年で23回目（ＪＲ九州労組は６回目）を迎える。集約したデータは賃金実態と世間水準との比較検証をはじめ、今後の賃金政策議論に反映させていくとともに、２０１７春季生活闘争要求を決定する重要なデータとなる。新賃金・昇進制度の検証のため、同調査内容にＪＲ九州労組の独自項目を付加して実施する。１００％の回収を目指し取り組むので組合員各位の協力を要請する。

■ **調査対象**
組合員全員（出向以外の休職者、嘱託再雇用組合員、契約社員組合員は除く）

■ **対象賃金**
２０１６年９月配布の給与明細

2016年度　青年・女性委員会 三役体制

役　職	氏　名	職　場
青年・女性委員長	松下　雄太	熊本新幹線工務所
青年・女性副委員長	米村　勇哉	人事部人事課
青年・女性副委員長	柴田　惇考	鹿児島乗務センター
青年・女性副委員長	幸野　郁	佐賀鉄道部本所（工務）
青年・女性副委員長	伊藤　友紀	熊本駅
事　務　長	家宇治　孝太	建設工事部電気課